

日本血栓止血学会 学術標準化委員会 血小板部会

色のついたセルに回答をご記入下さい。設問は問43まであります。
全血法とPRP法とで回答内容に違いがある場合はシート2に全血法の条件をご記入下さい(集計表下部をクリック)

不明な点がありましたら下記までお気軽にお問い合わせ下さい。
E-mail: ksatoh@yamanashi.ac.jp
055-273-9887 (直通)
山梨大学医学部臨床検査医学講座 佐藤金夫

貴施設の概要について

| | | |
|------------|---------------|--|
| 問 1 都道府県 | 別紙1 | |
| 問 2 病床数 | 別紙1 | 床 |
| 問 3 回答者の職種 | 197 5 7 | 1= 臨床検査技師 2= 医師 3= その他 (右欄 参照) |

血小板凝集能検査の概要について

| | | |
|------------------------|-----------------------------|--|
| 問 4 血小板凝集能検査を実施している | 52 156 | 1= いいえ → 問43以後をご回答の上、ご返送下さい。 2= はい |
| 問 5 測定サンプル | 185 14 0 | 1= PRP (platelet-rich plasma; 多血小板血漿) 2= 全血 3= PRPと全血の両方 |
| 問 6 依頼件数について | 別紙2 | 件(一ヶ月の平均) |
| 問 7 検査目的について(複数回答可) | 97 98 155 29 16 | 1= 出血傾向 (血小板機能低下の検査) 2= 血栓傾向 (血小板機能亢進の検査) 3= 薬効評価: (抗血小板薬の効果判定 手術前の効果判定を含む) 4= 不明 5= その他 (右欄 参照) |
| 問 8 依頼頻度(全てを100%としたとき) | 別紙3 | % 出血傾向 % 血栓傾向 % 薬効評価 % 不明 % その他 |
| 問 9 出血傾向の判定基準がありますか | 23 160 | 1= はい → 具体的に (右欄 参照) 2= いいえ |
| 問 10 血栓傾向の判定基準がありますか | 32 151 | 1= はい → 具体的に (右欄 参照) 2= いいえ |
| 問 11 薬効評価の判定基準がありますか | 54 131 | 1= はい → 具体的に (右欄 参照) 2= いいえ |

測定装置について

| | | |
|--------------------------------------|----------------|---|
| 問 12 使用している血小板凝集能装置の名前およびメーカー(複数回答可) | 装置名 別紙4 | メーカー 別紙4 |
| 問 13 測定チャンネル間の違いが気になる | 180 13 | 1= ならない 2= なる → 複数の所有している場合は、違いが気になる装置名を記入してください (右欄 参照) |
| 問 14 校正をしている | 94 81 21 | 1= している 2= していない 3= 校正機能がついていない |

採血条件について

(問15~19は患者さんにより異なると思いますが、原則としての条件をご記入下さい)

| | | |
|--|---|--|
| 問 15 採血者について[外来] (複数選択可ですが、その場合、おおよその頻度を2列目に記入してください) | 採血者 頻度(合計で100%) ただし、頻度不明の場合は999を入力してください) ↓ 127 125 12 4 2 1 | 右欄 参照 1= 臨床検査技師 2= 看護師 3= 医師 4= 部々の外来診察室で行われて検査部に届けられるため不明 5= 不明(選択肢4以外で不明) 6= その他 (右欄 参照) |
| 問 16 採血者について[病棟] (複数選択可ですが、その場合、おおよその頻度を2列目に記入してください) | 採血者 頻度(合計で100%) ただし、頻度不明の場合は999を入力してください) ↓ 52 144 40 11 1 | 右欄 参照 1= 臨床検査技師 2= 看護師 3= 医師 4= 不明 5= その他 (右欄 参照) |
| 問 17 駆血帯の使用 | 5 169 17 | 1= なし 2= 採血中は継続して使用する 3= 使用するが、穿刺後にはずす |
| 問 18 採血針(ゲージ) (6施設で複数回答あり別に集計した。カッコ内) | 5 4 10 117 (6) 39 (4) 7 (2) 3 | 1= 18G 2= 19G 3= 20G 4= 21G 5= 22G 6= 23G 7= その他 (右欄 参照) |

| |
|----------|
| 問3 その他内訳 |
| 4 研究員 |
| 2 歯科医師 |
| 1 教員 |
| 1 |

数字は施設数を表す(以下、同じ)

| |
|-------------------|
| 問7 その他内訳 |
| 5 HIT |
| 3 研究目的 |
| 2 脳ドック |
| 1 虚血性心疾患 |
| 1 めまい、しびれ、骨髄増殖性疾患 |
| 1 薬剤の安全性評価(研究所) |
| 1 スクリーニング |
| 2 未記入 |

| |
|---------------------|
| 問9 具体例 内訳 |
| 9 機器メーカーの判定基準 |
| 5 特定濃度で二次凝集の有無 |
| 5 あると思うが詳細は不明 |
| 2 特定濃度で最大凝集率が50%以下 |
| 2 PT、APTT、出血時間、血小板数 |

| |
|-----------------------------------|
| 問10 具体例 内訳 |
| 18 機器メーカーの判定基準 |
| 4 あると思うが詳細は不明 |
| 4 特定濃度で二次凝集の有無 |
| 2 特定濃度で最大凝集率が50%以上 |
| 1 他の検査(CAVI、頸動脈エコー、下肢静脈エコー、生化学検査) |
| 1 自然凝集20%以上 |
| 1 メーカーの判定基準に独自の判定を追加 |
| 1 コラーゲン0.125 μg/ml で凝集がある場合 |

| |
|----------------------|
| 問11 具体例 内訳 |
| 40 機器メーカーの判定基準 |
| 4 あると思うが詳細は不明 |
| 2 メーカーの判定基準に独自の判定を追加 |
| 1 特定濃度で最大凝集率が50%以下 |
| 1 治験依頼メーカーが提示する条件 |
| 1 薬物投与前の凝集能との比較 |
| 5 未記入 |

| |
|------------------|
| 問13で2と答えた施設の所有装置 |
| 9 ヘマトレーサーシリーズ |
| 3 PAシリーズ |
| 1 WBAアナライザー |

| |
|----------------------|
| 問15 全回答202施設中 |
| 83施設 臨床検査技師が100%採血 |
| 18施設 看護師が100%採血 |
| 1施設 医師が100%採血 |
| 49施設 技師、看護師が種々の割合で採血 |
| 15施設 頻度不明 |
| 35施設 未記入 |

問15のその他 採血室所属の看護師

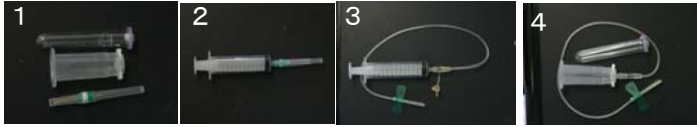
| |
|----------------------|
| 問16 全回答202施設中 |
| 97施設 臨床検査技師が100%採血 |
| 21施設 看護師が100%採血 |
| 1施設 医師が100%採血 |
| 36施設 技師、看護師が種々の割合で採血 |
| 22施設 頻度不明 |
| 25施設 未記入 |

問16のその他 採血室所属の看護師

| |
|-----------|
| 問18のその他内訳 |
| 1 留置から |
| 2 不明 |

日本血栓止血学会 学術標準化委員会 血小板部会

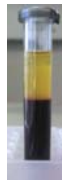
- 問 19 採血器具 64 (16) 1= マルチ針 + 真空採血管
(22施設で複数回答あり別に集計した。) 54 (17) 2= 注射針 + シリンジ
24 (10) 3= 翼状針 + シリンジ
29 (9) 4= 翼状針 + 真空採血管



- 問 20 クエン酸ナトリウム (%) 86 1= 3.13
45 2= 3.2
64 3= 3.8
- 問 21 問19で2、3と答えた施設に質問します 18 1= シリンジにクエン酸ナトリウムをあらかじめ充填して採血する
33 2= シリンジには何も加えず、採血後に真空採血管に注射針を使って移す
36 3= シリンジには何も加えず、採血後に採血針および真空採血管のキャップを外してから移す
22 4= その他 (右欄 参照)
- 問 22 two syringe 法を行っていますか? 16 1= はい
101 2= いいえ
20 3= two syringe 法を行っているか不明
57 4= two syringe 法を知らない
- 問 23 凝集能検査のための採血量について 別紙5 mL (クエン酸ナトリウムの量を含めて)

PRP作成から測定まで

- 問 24 採血後に血液を放置しますか? PRP法 全血法
58 5 1= 全血で放置する
52 --- 2= PRPを作成してから放置する
74 1 3= 放置しない
1 8 未記入
- 問 25 採血→遠心するまでの時間について 131 1= 0~30分
38 2= 31~60分
8 3= 61~90分
3 4= 91~120分
1 5= 121~150分
0 6= それ以上
4 7= 不明
- 問 26 採血→測定開始するまでの時間について 16 1= 0~30分
85 2= 31~60分
68 3= 61~90分
10 4= 91~120分
3 5= 121~150分
1 6= それ以上
4 7= 不明
- 問 27 測定時に血小板を確認しますか? (複数回答可) 62 1= 血算用のEDTA血で確認する
11 2= 凝集能検査用のクエン酸血で確認する
106 3= 作成したPRPで確認する
47 4= 確認しない
5 5= その他 (右欄 参照)
- 問 28 PRPの血小板数を調整するため希釈しますか? 86 1= いいえ
47 2= はい → 血小板数を (別紙6) / μL とする
56 3= 通常はしないが血小板数が別紙6 / μL 以上の場合は希釈する
- 問 29 問28で2、3と答えた施設にお尋ねします PRPを希釈する溶液は? 105 1= PPP
1 2= 生理食塩水
0 3= Phosphate buffer saline (PBS)
1 4= その他 (右欄 参照)
- 問 30 PRP作成時の遠心条件について(青またはピンクのセルどちらかでお答え下さい) 別紙7 分 分
rpm rpm
回転半径 (cm) g
青 → (回転数にて回答する場合) 0.0 g (換算)
ピンク → (遠心力にて回答する場合)
- 問 31 PRP作成時の遠心条件について(青またはピンクのセルどちらかでお答え下さい) 別紙8 分 分
rpm rpm
回転半径 (cm) g
0.0 g (換算)
- 問 32 PPPの作成方法について 147 1= PRPを採取後、そのチューブを再度遠心
5 2= PRPを遠心
33 3= 全血を遠心
- 問 33 PRP、PPP作成時に遠心機のブレーキ設定について 84 1= 常にブレーキを使用
70 2= ブレーキは使用しない
6 3= PRP作成時のみ使用
28 4= PPP作成時のみ使用
- 問 34 PRPはどこまで回収しますか? 18 1= ぎりぎりまで回収(赤血球層から 2mm以下)
109 2= 赤血球層から2~5mm
41 3= 赤血球層から6~10mm
17 4= 赤血球層から11mm以上
1 複数回答
コメント有り 右欄 参照



問21 その他詳細

| | |
|---|--|
| 1 | シリンジには何も加えず、採血後真空採血管から移す |
| 2 | シリンジには何も加えず、採血後に針をはずしてクエン酸Naの入った試験管に入れる |
| 3 | シリンジには何も加えず、クエン酸Naの入った試験管に入れる |
| 4 | シリンジには何も加えず、採血後に針をはずしてクエン酸Naの入ったプレーンの採血管に入れる |
| 5 | 未記入 |
| 6 | 不明 |

問27 その他の内訳

| | |
|---|-------------------------------------|
| 3 | データを見ても必要があればEDTA血・クエン酸血で確認 |
| 1 | 血算がない場合は確認しない |
| 1 | PRPの目視により、血小板数が低い場合は、そのコメントを付けて報告する |

問29 その他の内訳

| | |
|---|------|
| 1 | 本人血清 |
|---|------|

問34 コメント

| | |
|---|-----------|
| 1 | 2ml回収 |
| 1 | Httにより変わる |

日本血栓止血学会 学術標準化委員会 血小板部会

測定条件について

問 35 検査目的(問7)に応じて血小板活性化物質(以下、試薬)の使用濃度を覚えて 49 1= はい
150 2= いいえ

問 36 試薬の使用濃度(終濃度)をすべて記入して下さい。単位が違う場合はその他の欄へ記入して下さい。 **別紙9~13** **問36, 記入上の注意:** 一つのセルに1濃度だけ記入し、4濃度以上ある場合はその種の薬名利用! アイがましい

↓ 問35で2と答えた方はこちらにご記入下さい

| | 出血傾向 | 血栓傾向 | 薬効評価 | 不明 | その他 |
|-------------|---------------|---------------|------|----|---------------|
| PRP法 | ADP(μM) | ADP(μM) | | | ADP(μM) |
| | コラーゲン(μg/mL) | コラーゲン(μg/mL) | | | コラーゲン(μg/mL) |
| | リストセチン(mg/mL) | リストセチン(mg/mL) | | | リストセチン(mg/mL) |
| | エピネフリン(μM) | エピネフリン(μM) | | | エピネフリン(μM) |
| | アラキドン酸(mM) | アラキドン酸(mM) | | | アラキドン酸(mM) |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| 全血法 | ADP(μM) | ADP(μM) | | | ADP(μM) |
| | コラーゲン(μg/mL) | コラーゲン(μg/mL) | | | コラーゲン(μg/mL) |
| | リストセチン(mg/mL) | リストセチン(mg/mL) | | | リストセチン(mg/mL) |
| | エピネフリン(μM) | エピネフリン(μM) | | | エピネフリン(μM) |
| | アラキドン酸(mM) | アラキドン酸(mM) | | | アラキドン酸(mM) |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |
| | その他() | その他() | | | その他() 単位() |

問 37 試薬の希釈液について(例:専用希釈液、蒸留水など) **別紙14~17** ADP

注: 2段階に分けて希釈している場合は 専用希釈液→ 生理食塩水 と記入して下さい

| | |
|--------|-----|
| コラーゲン | 試薬名 |
| リストセチン | ↓ |
| エピネフリン | |
| アラキドン酸 | |
| その他() | |
| その他() | |
| その他() | |
| その他() | |
| その他() | |

問 38 試薬の品名およびメーカーについて **別紙14~17**

| 品名 | メーカー |
|--------|------|
| ADP | |
| コラーゲン | |
| リストセチン | |
| エピネフリン | |
| アラキドン酸 | |
| その他 | |
| その他 | |
| その他 | |
| その他 | |

問 39 PRP(全血)と血小板活性化物質の混合割合について **別紙18** μLのPRP(全血)に対して **別紙18** μLの試薬を添加する

問 40 凝集能の測定時間は何分ですか? **別紙19** 分

問 41 試薬の添加は測定開始何分後ですか? **別紙20** 分

問 42 報告方法について(複数回答可)

| | |
|-----|--------------------------|
| 138 | 1= 吸光度法での最大凝集率 |
| 17 | 2= 吸光度法での立ち上がり速度 |
| 30 | 3= 測定時間最後の凝集率(最大凝集に関係なく) |
| 14 | 4= 二次凝集を起こす最低濃度 |
| 101 | 5= チャート |
| 14 | 6= S-MAX |
| 17 | 7= AUC |
| 15 | 8= S/M/L比率 |
| 49 | 9= 2濃度法(class1~class9) |
| 37 | 10= 4濃度法(PATI G-type) |
| 13 | 11= 医師のコメント |
| 17 | 12= その他(右欄参照) |

問42 その他 内訳

| | |
|---|---|
| 6 | 最大凝集出現時間、3分値凝集率、5分値凝集率、解離率、面積、スロープ、ラグタイムのいずれか |
| 3 | 臨床検査技師のコメント |
| 2 | S/L比率によるクラス分類(class-2 ~ class 2) |
| 2 | 独自の報告書 |
| 2 | 機械設定の報告書 |
| 1 | 乳び検体、溶血検体 |
| 1 | 未回答 |

問 43 血小板凝集能検査に関して、疑問、不満、要望などご自由にご記入下さい(機器メーカーに対するものでも結構です)。

ご協力、ありがとうございました。